



にっしょう 日商だより

☆第68号☆
平成30年10月

■■■この「日商だより」は、私たちと何かのご縁があった方々に、差し上げている通信誌です。■■■

◆防災の準備◆

お世話になります。日商器材の後藤です。9月、10月と台風、北海道での地震と自然災害が続いています。

今年、自治会の防災担当をしていることもあり、防災倉庫の備品を揃えました。袋式トイレ、簡易組立式便座、トイレ用テント、長尺トイレトーパー、防寒具としてアルミブランケット、救急用品セットなど、桑名市の助成金を利用して購入し、防災倉庫に入れました。



自治会の災害時における第一の使命は、住民全員の無事の確認、現時点での総人数の把握と火災発生の有無の確認です。巨大地震などで、甚大な被害が発生した場合は、消防車や救急車を含む行政機関や他の地区からの支援応援は、すぐには期待できません。支援が開始する日数は、3日～1週間かかると言われています。

さらに大規模災害になると、住民だけがいるとは限りません。より大きい被害にあった他所の親戚が、被害の少ない住民を頼って避難してくる場合や、たまたま車で出張していたサラリーマンが、道路寸断で帰れなくなり、町内にいる場合があります。自治会では、そういった方の対応も含めて、対策を考える必要があります。しかし、現在ある防災倉庫では、全住民の食料や水を必要量備蓄することができません。よって市からの援助物資が届くまでの対策として、班をさらに細分化して、その最小共同体の中で自宅にある物を持ち寄る、あるいは共同で購入して食料等を確保した場合、あとで償還払いにするという方法があります。

こうすることにより、自治会全員に食料が行き渡ります。この方法であれば、自治会費をもらっていないなくても、援助することができます。

今回、安全確認の連絡体系の作成など、防災についていろいろ調べることができました。(裏面へ続く)

会社でも、営業時間中に災害が発生した場合、自宅まで無事に帰ることができるよう準備していきます。車通勤がほとんどですが、電車通勤の人が帰れなくなった場合の備蓄も考える必要があります。

基本的に災害時は、自助（自分の身は自分で守る）が原則です。桑名近辺では、昭和34年の伊勢湾台風後、堤防の護岸工事が進み、大きな水害もありません。忘れた頃にやってくるのが自然災害です。日商器材では、防災用品も扱っていますので、会社で備品を検討される場合は、ぜひご相談下さい。

日商器材 後藤

◆9月21日フェアを開催しました！◆

9月21日に桑名メディアライブで日商器材ビジネスフェアを開催しました。

多くのお客様にご来場頂き、誠にありがとうございました。

メーカーの全面協力のもと、今年も無事開催することができました。弊社の主力製品であるキヤノンの複合機や、監視カメラ・プロジェクター・大判プリンタ・ラベルプリンタ等の事務機器の他、話題の文房具やハズキルーペなども展示しました。

また、アプリケーションソフトを開発している、オフィスメディアさんにも展示して頂きました。

個人的には、産業用のドローンを展示できて良かったです。カメラは、EOS 5D マークIVがついていました。1セット300万からになりますが、広い敷地の倉庫警備や、農業分野での使用が、これから拡大していくと思われます。

来年は、さらに多くのお客様の役に立つ商品等を、ご紹介できる展示会にしていきたいと思ひます。

代表取締役 後藤

【発行者プロフィール】

日商器材株式会社 代表取締役 後藤 渉（ごとう わたる）

◆生年月日:昭和51年5月6日生まれ ◆出身地:三重県桑名市

◆経歴:精義小学校→陵成中学校→川越高校→中京大学経済学部
→キヤノンマーケティングジャパン(株)(旧・キヤノン販売(株))→日商器材(株)

◆趣味:カメラ(主に一眼レフで撮る写真ですが動画も好きです。)



後藤 渉

【発行元】

OA機器・複写 情報サービス・測量機
NSK 日商器材株式会社

〒511-0068 三重県桑名市中央町2-26

TEL:0594-21-2600

FAX:0594-21-2685

※お気軽にお問い合わせください!

